

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 大谷工業

コード番号 5939 URL <http://www.otanikogyo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇

TEL 03-3494-3731

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,740	△9.7	205	△2.5	220	△4.8	156	17.5
21年3月期第3四半期	4,139	4.3	210	△15.5	231	△16.7	133	△20.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	17.81	—
21年3月期第3四半期	15.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,756	1,328	35.4	150.99
21年3月期	4,412	1,199	27.2	136.42

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,328百万円 21年3月期 1,199百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				2.50	2.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,350	△3.6	230	△13.3	250	△12.8	150	△7.5	17.05

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	8,800,000株	21年3月期	8,800,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	3,740株	21年3月期	3,740株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	8,796,260株	21年3月期第3四半期	8,796,260株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定に基づくものであり、今後経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績見通しと異なる場合があります。詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部景気回復の兆しがあるものの、個人消費の低迷からデフレが長期化する懸念があり先行き不透明な状況にあります。

当社の主要取引先である電力業界は大口需要の減少もあり設備投資の抑制を継続しております。通信業界も光アクセスサービス加入者数が依然伸び悩んでおり、次世代ネットワーク関連等の設備需要は盛り上がり欠ける状態にあります。また建設業界は一昨年の金融危機の影響が残り業界全体の工事量は低い水準で推移しています。

当社はこのような状況下、各事業で拡販に努めましたが当第3四半期累計期間の売上高は 3,740百万円と前年同期比 399百万円(△9.7%)の減少となりました。

利益面につきましては、諸経費の節減、採算管理を徹底しましたが、売上総利益は 819百万円と前年同期比 16百万円(△1.9)の減少、営業利益は 205百万円と前年同期比 5百万円(△2.5%)の減少、経常利益は 220百万円と前年同期比 11百万円(△4.8%)の減少となりました。

四半期純利益は 156百万円と前年同期比 23百万円(17.5%)の増加となりました。これは投資有価証券の売却に伴い税金が軽減されたためです。

各事業部門の業績は次のとおりであります。

① 架線金物部門

電力関連は原子力発電所の再開の目処がついたものの、本格稼働は1月以降のため設備投資の抑制方針が継続され、当社の関連する配電用製品も減少しました。通信関連は前倒しになっている電柱建替え工事が前期から継続されていますが、減少している電力関連の売上を補填しきれませんでした。

この結果、売上高は 2,142百万円と前年同期比 29百万円(△1.4%)の減収となりました。

② 鉄塔・鉄構部門

電力関連の鉄塔の新設は一巡しており、建替えについては国内経済の悪化から設備投資を抑制しております。また通信関連の鉄塔も整備網が一巡しております。

こうした中、各地での受注に注力しましたが売上高は719百万円と前年同期と比べ209百万円(△22.5%)減収となりました。

③ スタッド部門

世界同時不況以降、建設業界全体の工事量が激減し、特に中部地区・関西地区で価格競争が激化しております。関東地区においても大型物件は継続してあるものの、中小規模の物件が凍結や延期になっていることから価格が下落傾向にあります。当社においてもこの影響を受け、売上高は841百万円と前年同期と比べ134百万円(△13.8%)減収となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ656百万円減少し、3,756百万円となりました。これは売上減少による売上債権が264百万円減少したこと、在庫の圧縮151百万円、投資有価証券を58百万円圧縮したこと、借入金返済による現金・預金が減少したことが主因です。

今後も資産内容を見直しスリム化を図ってまいります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ784百万円減少し、2,428百万円となりました。これは主に、原材料の仕入を抑制した結果仕入債務が312百万円減少したこと、長期借入金300百万円を返済したことによります。

(純資産)

純資産は前事業年度末と比べ128百万円増加し1,328百万円となりました。これは主に、四半期純利益を156百万円計上し、配当として21百万円支出したことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月19日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	275,748	389,359
受取手形及び売掛金	1,267,850	1,532,390
商品及び製品	376,952	421,649
仕掛品	248,745	343,820
原材料及び貯蔵品	143,721	155,561
繰延税金資産	25,375	60,752
その他	42,285	10,990
貸倒引当金	380	1,378
流動資産合計	2,380,299	2,913,145
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	173,315	184,418
機械及び装置(純額)	338,108	377,369
土地	596,841	596,841
リース資産(純額)	73,610	90,685
その他(純額)	45,106	45,926
有形固定資産合計	1,226,982	1,295,242
無形固定資産	5,870	8,267
投資その他の資産		
投資有価証券	72,443	130,566
その他	85,177	88,521
貸倒引当金	14,338	22,999
投資その他の資産合計	143,282	196,088
固定資産合計	1,376,136	1,499,598
資産合計	3,756,435	4,412,744

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	866,525	1,178,608
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	-	300,000
未払費用	124,472	164,154
未払法人税等	-	85,772
その他	118,727	140,195
流動負債合計	1,859,725	2,618,731
固定負債		
退職給付引当金	431,405	436,389
役員退職慰労引当金	51,272	51,026
リース債務	51,934	68,533
その他	33,941	38,100
固定負債合計	568,553	594,049
負債合計	2,428,278	3,212,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	452,262	317,590
自己株式	699	699
株主資本合計	1,328,735	1,194,063
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	578	7,664
繰延ヘッジ損益	-	1,764
評価・換算差額等合計	578	5,899
純資産合計	1,328,156	1,199,962
負債純資産合計	3,756,435	4,412,744

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,139,871	3,740,280
売上原価	3,304,622	2,921,080
売上総利益	835,249	819,199
販売費及び一般管理費	624,828	613,979
営業利益	210,420	205,220
営業外収益		
受取利息	237	444
受取配当金	4,417	4,328
作業くず売却益	30,890	18,342
不動産賃貸料	5,850	5,850
雑収入	3,422	3,859
営業外収益合計	44,817	32,825
営業外費用		
支払利息	22,093	16,622
雑損失	1,475	863
営業外費用合計	23,569	17,486
経常利益	231,669	220,559
特別利益		
固定資産売却益	1,400	2
退職給付引当金戻入額	455	-
貸倒引当金戻入額	-	1,808
投資有価証券売却益	-	4,184
特別利益合計	1,855	5,995
特別損失		
固定資産除売却損	1,307	2,694
投資有価証券売却損	-	2,960
特別損失合計	1,307	5,654
税引前四半期純利益	232,217	220,900
法人税、住民税及び事業税	72,503	36,991
法人税等調整額	26,361	27,245
法人税等合計	98,865	64,237
四半期純利益	133,352	156,662

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	232,217	220,900
減価償却費	120,760	115,463
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,975	9,658
退職給付引当金の増減額(は減少)	496	4,984
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,464	246
受取利息及び受取配当金	4,655	4,772
支払利息	22,093	16,622
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,224
有形固定資産除売却損益(は益)	92	2,691
売上債権の増減額(は増加)	157,946	264,540
たな卸資産の増減額(は増加)	121,453	151,611
仕入債務の増減額(は減少)	205,125	312,082
その他	5,611	30,476
小計	294,371	408,878
利息及び配当金の受取額	4,658	4,776
利息の支払額	28,932	20,549
法人税等の支払額	98,555	149,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,542	243,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	90,000
定期預金の払戻による収入	-	180,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	66,093	66,436
有形固定資産の売却による収入	4,072	40
投資有価証券の取得による支出	5,632	4,515
投資有価証券の売却による収入	500	52,941
出資金の回収による収入	40	-
貸付金の回収による収入	2,454	1,770
ゴルフ会員権の取得による支出	-	2,095
ゴルフ会員権の売却による収入	1	1,180
保証金の回収による収入	-	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,658	73,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	-
長期借入金の返済による支出	320,000	300,000
配当金の支払額	17,437	21,833
ファイナンス・リース債務の返済による支出	20,468	19,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,905	341,318
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	51,021	23,611
現金及び現金同等物の期首残高	441,789	299,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	390,768	275,748

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 品目別売上高明細、受注高及び受注残高

品目別売上高

(単位 千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	増 減	
			金 額	率 (%)
架線金物	2,142,999	2,172,517	△ 29,518	△ 1.4
鉄塔・鉄構	719,658	929,167	△ 209,508	△ 22.5
スタッド	841,532	976,255	△ 134,723	△ 13.8
その他	36,090	61,930	△ 25,840	△ 41.7
合 計	3,740,280	4,139,871	△ 399,590	△ 9.7

品目別受注高

(単位 千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
架線金物	2,161,121	2,182,147
鉄塔・鉄構	803,630	935,077
スタッド	717,058	1,079,893
その他	37,254	46,228
合 計	3,719,065	4,243,346

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

品目別受注残高

(単位 千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日現在)	前第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日現在)
架線金物	146,286	123,399
鉄塔・鉄構	322,215	381,854
スタッド	220,286	460,788
その他	3,078	2,384
合 計	691,867	968,426

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。